

スポーツ山形



(財) 山形県体育協会

カザフスタン冬季アジア大会

スキージャンプ団体

金メダル 佐々木悠兵

あきた鹿角国体

スペシャルジャンプ 第3位



一年を振り返って

財団法人山形県体育協会

会長 金森義弘



始めに、この度の東北地方太平洋沖地震により甚大な被害を受けた皆様、謹んでお見舞い申し上げます。本会も東北体育協会の事務局として、何ができるかを模索しているところであります。

一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。さて、この一年間、生涯スポーツの普及と少年スポーツの育成、競技力の向上など、本県スポーツの振興と発展のため、多くの方々にご尽力をいただきましたことを、衷心より御礼申し上げます。

本年度はアジア競技大会が開催され、県勢の躍進に心沸いた年となりました。広州大会では、本県関係選手十一名が出場し六名がメダルを獲得、冬季大会には三名が出場し、全員がメダルを獲得する素晴らしい活躍ぶりを見せられました。また、スケート距離別選手権を高校生ながら制した小田卓朗選手の見事な活躍がありましたし、企業スポーツの山形銀行女子バスケットボールやバレーボールのパイオニア・レッドウィングスの活躍、そしてJ1に定着したモンテディオ山形の健闘なども、県民に大きな希望と勇気を与えてくれました。

第六十五回国体は、カヌー競技の昨年を上回る活躍や、フェンシング成年女子の競技別女子総合優勝、陸上競技で優勝した江口悠貴選手をはじめとする高校一年生の奮闘など、随所に健闘が見られましたが、総合成績については昨年より下回る結果となりました。各競技団体におかれましては、今年度の結果を分析・整理し、将来を見据えた若い力の育成を含めて、「強い山形」を目指して前進されることを望みます。

創設と育成が順調に図られている総合型地域スポーツクラブも、いよいよ個々のクラブの一層の活性化を目指す第二段階に入ります。誰もがライフステージに合わせて参加できる生涯スポーツの充実した環境の提供に、継続的に取り組んでまいります。未だ先が見えない不況や前述した震災など暗い話題が多い今日ですが、このような時代背景だからこそ、スポーツの果たす役割は非常に重要でありまして、本協会は、引き続き「私たちは山形のスポーツを応援します・向上無限」をフラッグに掲げ、活力ある元気な山形を作るために邁進する所存ですので、今後ともご協力の程をお願い申し上げます。

2010 広州アジア大会

11月中国広州で開催されたアジア大会に本県関係選手11人が出場し、熱戦を繰り広げた。メダル獲得数は金メダル1、銀メダル1、銅メダル4の計6個。山形県勢入賞者の活躍を紹介したい。

◆池田めぐみ（フェンシング女子エペ：県体育協会・米沢興譲館高校出身）

競技に復活して1年目。3人で戦う団体で、最年長としてリーダーシップを発揮し、チームを牽引した。世界ランキング4位の中国との決勝では、同点の場面で最終戦を戦い、優勝を勝ち取った。この種目での金メダルは史上初の快挙である。

◆鶴巻 宰（レスリング男子グレコローマンスタイル74kg級：自衛隊体育学校・米沢工業高校出身）

1回戦で昨年世界3位のイラン選手を破り、決勝まで駒を進め見事準優勝を果たした。鶴巻選手は、練習中腰を骨折し昨年5月に手術。千葉県国体や世界選手権には出場できなかったが、素晴らしい復活戦を飾った。

◆大神 雄子（バスケットボール女子：JX・山形一中出身）

日本チームは73対61で前回2位の台湾に快勝し、2大会連続の銅メダルを獲得した。大神選手は、司令塔として活躍し、5アシスト・13得点でチームの勝利に大きく貢献した。



◆長沼 敦（水球男子：ハンガリーペーチ・山形工業高校出身）

日本チームは準決勝で宿敵カザフスタンに8対10で敗れ、決勝進出は果たせなかった。3位決定戦では終始韓国にリードし、19対5で韓国に大勝して銅メダルを獲得した。

◆武田 享（ハンドボール男子：大同特殊鋼・東根工業高校出身）

予選リーグ組1位で進出した準決勝で、イランに29対30の1点差で惜敗し決勝進出を逃したが、3位決定戦ではサウジアラビアに27対20で快勝し、銅メダルを獲得した。

◆貫名 強（ダンススポーツ：ソピア・鶴岡南高校出身）

今回のアジア大会から正式種目となったダンススポーツ。貫名選手はスローフォックス・トロットで銅メダルに輝き、スタンダード5種目では4位の結果だった。

2011 カザフスタン冬季アジア大会

今年2月、冬季アジア大会に出場した本県関係選手は3人。それぞれの選手が輝かしいメダルを手にした。

◆加藤 条治（スピードスケート男子：日本電産サンキョー・山形中央高校出身）

加藤選手はスピードスケート500mに出場し、2回の合計タイムで大会新記録をマークして金メダルを獲得した。1回目で35秒02のアジア大会新記録でトップに立ち、2回目でさらに記録を上回り、2位の韓国選手に0秒35の大差をつけて初優勝を飾った。

◆佐々木悠兵（スキー・ジャンプ団体：日本空調・米沢工業高校出身）

アジア大会初出場で、メンバーの中で最も若い佐々木選手は、1本目110.0m、2本目121.5mと安定したジャンプで、4人での団体戦に大きな貢献を果たした。また、今年度のスキー国体でも、風に恵まれない中での3位と大健闘してくれた。

◆阿部 悟（バイアスロン男子：陸上自衛隊：尾花沢市出身）

バイアスロン男子30kmリレーで準優勝。日本チームは優勝したカザフスタンに前半から差をつけられたものの、アンカーを務めた阿部選手が奮闘し、3位の中国に大差をつけて銀メダルを獲得した。



第66回国民体育大会冬季大会成績

男女総合成績 15位 (101点)

- スケート・アイスホッケー競技会 男女総合19位 (40点)
- スキー競技 男女総合5位 (61点)



▲青木富美子(右)、矢口小百合



▼距離成年女子B
5キロクラシカル
青木富美子

距離成年女子A▶
5キロクラシカル
矢口小百合



▲大回転成年男子C 瀧澤 宏臣



▲少年男子1,000メートル 小田 卓朗(左)



▲距離女子20キロリレー
安彦のぞみ(左)、有路 杏子

写真提供
山形新聞社

◆冬季国体スキー・スケート県勢の入賞者

順位	競技名	種別	種目	選手名	所属
2位	スキー	成年男子C	ジャイアントスラローム	瀧澤 宏臣	日建総合SC
3位	スケート(スピード)	少年男子	1,000m	小田 卓朗	山形中央高校3年
	スキー	成年A	スペシャルジャンプ	佐々木悠兵	日本空調サービス
	スキー	成年女子B	クロスカントリー	青木富美子	真室川高等学校
	スキー	成年女子A	クロスカントリー	矢口小百合	山形県体育協会
	スキー	女子	フリーリレー	安彦のぞみ・有路 杏子 青木富美子・矢口小百合	山形県選抜
4位	スケート(スピード)	少年男子	1,500m	中尾 光杜	山形中央高校2年
	スキー	少年男子	フリーリレー	尾崎 光輔・有路 圭佑 片倉 将也・奥山 達哉	山形県選抜
5位	スケート(スピード)	少年男子	1,500m	小田 卓朗	山形中央高校3年
6位	スケート(スピード)	成年男子	1,500m	森永 一帆	早稲田大学2年
	スキー	成年男子	フリーリレー	杉沼 聖平・三浦 史敬 原田 健人・高橋 哲也	山形県選抜
	スキー	少年男子	ジャイアントスラローム	沖野 省吾	日大山形高校3年
7位	スケート(スピード)	成年男子	5,000m	中野 秀基	日本体育大学2年
	スキー	成年B	スペシャルジャンプ	坂野 幸夫	雪印スキー部
8位	スキー	少年	スペシャルジャンプ	土屋 朋	米沢工業高校3年

殊勲賞・奨励賞



殊勲賞

種 目	氏 名	所 属	主 な 成 績	
水 泳	大久保琳太郎	米沢市立第四中学校 2 年	第33回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 13~14歳男子 50m平泳ぎ 100m平泳ぎ	優 勝
水 球	山形県選抜チーム		第3回全日本ユース(U15)水球競技選手権大会 ~桃太郎カップ~ 女子の部	優 勝
	長沼 敦	山形県水泳連盟	第16回アジア競技大会 水球競技	3 位
サ ッ カ ー	中村 隼	モンテディオ山形	2010 AFC U-19 チャンピオンシップ ベスト 8	出 場
	山田 拓巳	モンテディオ山形	2010 フローニンゲン国際ユース大会(U-19日本代表)	2 位
カ ノ ー	古澤 康太	西川町立西川中学校 3 年	第38回トゥーロン国際大会 (U-21日本代表)	出 場
	三澤 涼太	西川町立西川中学校 2 年	JOCジュニアオリンピックカップ 平成22年度全国中学生カヌー大会 男子カヤックペア 500m	優 勝
		西川町立西川中学校女子カヌー部	JOCジュニアオリンピックカップ 平成22年度全国中学生カヌー大会 男子カヤックペア 500m	優 勝
	阿部 輝	山形県立谷地高校 3 年	JOCジュニアオリンピックカップ 平成22年度全国中学生カヌー大会 女子カヤックフォア 500m	優 勝
	荒木 琢磨	山形県立谷地高校 2 年	平成22年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技 男子カヤックペア500m	優 勝
		山形県立谷地高等学校男子カヌー部	平成22年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技 男子カナディアンフォア200m	優 勝
陸 上	山木 伝説	米沢市立第四中学校 3 年	第37回全日本中学校陸上競技選手権大会 男子 400m	優 勝
	高橋 皆斗	山形市立第八中学校 2 年	第41回ジュニアオリンピック陸上競技大会 男子 B 100m	優 勝
	江口 悠貴	私立九里学園高校 1 年	第65回国民体育大会 陸上競技 少年男子 B 110mH	優 勝
	安孫子充裕	筑波大学 4 年	第16回アジア競技大会 陸上競技 男子 200m 4×100mリレー	出 場
バレーボール	山上 彩	山形市立商業高校 3 年	第8回バレーボールアジアユース女子選手権大会	優 勝
	沼田さくら	東北パイオニアレッドウィングス	第15回バレーボールアジアジュニア女子選手権大会	3 位
バスケットボール	高橋 貴大	山形県立山形南高校 3 年	第16回アジア競技大会 バレーボール競技	6 位
	大沼 美琴	山形市立商業高校 2 年	第21回 FIBA アジア U-18 男子バスケットボール選手権大会	8 位
		山形銀行ライヤーズ	第1回 FIBA U-17 女子バスケットボール世界選手権大会	5 位
ウ ェ イ ト リ フ テ ィ ン グ	三田村和真	中央大学 4 年	平成22年度全日本実業団バスケットボール競技大会	優 勝
卓 球	星野 直樹	私立鶴岡東高校 3 年	第6回全日本社会人バスケットボール選手権大会	優 勝
フェンシング	池田めぐみ	(財)山形県体育協会	第7回全日本学生選抜選手権大会 ウェイトリフティング競技会 69kg級	優 勝
剣 道	小山 早穂	早稲田大学 2 年	2010 ベトナム ゴールドエンラケット大会 男子団体	3 位
	小松 優	早稲田大学 2 年	第16回アジア競技大会 フェンシング競技 女子エペ団体	優 勝
			2010フェンシング世界選手権大会	出 場
			第29回全日本女子学生剣道優勝大会 団体	優 勝
			第29回全日本女子学生剣道優勝大会 団体	優 勝

奨励賞

種 目	氏 名	所 属	主 な 成 績	
水 泳	石塚安沙子	鶴岡工業高等専門学校 2 年	第16回全国高等専門学校水泳競技大会 女子 50m背泳ぎ	優 勝
陸 上	加藤 啓一	山形陸上競技協会	第31回全日本マスターズ陸上競技選手権大会 M60 2000m障害	優 勝
	佐藤 克司	特別養護老人ホーム永寿荘	第16回アジアマスターズ陸上競技選手権大会 M50 ハンマー投	2 位



平成22年度 山形県体育協会

種 目	氏 名	所 属	主 な 成 績	
陸 上	佐藤 憲明	村山市立袖崎小学校	第31回全日本マスターズ陸上競技選手権大会 M45 400m障害	優 勝
	御供 妙子	山形陸上競技協会	第31回全日本マスターズ陸上競技選手権大会 W75 ハンマー投	優 勝
	大城 繁美	大城農機	第31回全日本マスターズ陸上競技選手権大会 W40 走高跳	優 勝
	富樫 時子	(資)イグニス	第31回全日本マスターズ陸上競技選手権大会 W40 やり投	優 勝
	磯部たまき	中山ひまわり荘	第31回全日本マスターズ陸上競技選手権大会 W35 800m	優 勝
卓 球	菊地 祥太	東北文教大学 2年	第45回全国私立短期大学体育大会 卓球競技 男子シングルス	優 勝
	佐藤 珠希	山形県立山形聾学校	第55回全国教職員卓球選手権大会 女子シニアダブルス (2連覇)	優 勝
	大宮 弘恵	山形県立上山高等養護学校	第55回全国教職員卓球選手権大会 女子シニアダブルス (2連覇)	優 勝
	杉本久美子	山形県卓球協会	平成22年度全国ラージボール卓球大会 女子ダブルス	優 勝
	皆川 文子	山形県卓球協会	平成22年度全国ラージボール卓球大会 女子ダブルス	優 勝
	山形県教職員シニア女子チーム		第55回全国教職員卓球選手権大会 女子シニア団体 (3連覇)	優 勝
トランポリン	渡辺 渚月	山形大学附属小学校 2年	第8回全日本ダブルミニトランポリン競技選手権大会 9～10歳女子の部	優 勝
			第38回全日本ジュニアトランポリン競技選手権大会 ダブルミニ競技 小学生低学年女子の部	優 勝
躰 道	佐藤 彩	酒田市立宮野浦小学校 3年	第32回全国少年少女躰道優勝大会 少女初階法形競技	優 勝
	斎藤 元文	鶴岡市立鶴岡第五中学校 3年	第32回全国少年少女躰道優勝大会 少年上階法形競技	優 勝
	鈴木 まみ	山形県立鶴岡中央高校 3年	第29回全国高等学校躰道優勝大会 女子法形競技	優 勝
	本間 章允	山形県立鶴岡工業高校 2年	第29回全国高等学校躰道優勝大会 男子法形競技	優 勝
	山形県Aチーム		第32回全国少年少女躰道優勝大会 少年少女展開競技	優 勝
	山形県Aチーム		第32回全国少年少女躰道優勝大会 少年少女法形競技	優 勝
	山形県チーム		第44回全日本躰道選手権大会 女子展開競技	優 勝

平成二十二年 度 スポーツ 功 労 者

(県体協関係)

◆県体育協会功労賞(市町村体協・競技団体推薦)

岸三郎兵衛(金山町) 吉田 憲一(高島町)
 加賀山 茂(陸上競技) 大宮 彰(バレーボール)
 丸山 隆志(ソフトボール) 伊藤 清志(卓球)
 澁谷 邦彌(野球) 今野 茂(ソフトボール)
 井場つや子(バドミントン) 滝口 功(剣道)
 芝田 肇(山岳) 星野 憲治(合気道)
 蜂屋 雅之(エテロビク) 太田 英雄(フラインドール)

◆県体育協会功労賞・ライオンズスポーツ賞

椿 央(スケート) 吉田 幸宏(水球)
 木村 文浩(カヌー) 山田かがり(バスケッボール)

◆県スポーツ少年団表彰

◎功労賞

土屋 芳美(山形市) 新関 浩生(天童市)
 渡辺 正博(寒河江市) 安野 重幸(尾花沢市)
 五十嵐忠一(鮭川村) 今野 隆三(米沢市)
 大久保良一(小国町) 海藤 甚一(鶴岡市)
 工藤 海蔵(酒田市) 兵藤 清彦(酒田市)

◎優良団

寒小スラッガーズスポーツ少年団(寒河江市)
 朝日卓球スポーツ少年団(朝日町)
 葉山ミニバスケットボールスポーツ少年団(村山市)
 神町剣道スポーツ少年団(東根市)
 日新サッカースポーツ少年団(新庄市)
 米沢レスリングスポーツ少年団(米沢市)
 長井バドミントンスポーツ少年団(長井市)
 いづみサッカースポーツ少年団(鶴岡市)
 峰栄卓球スポーツ少年団(鶴岡市)
 富士見スポーツ少年団(酒田市)

ドイツ研修 ノート

ドイツスポーツクラブ訪問を顧みて
平成二十二年度山形県体育協会ラフター・リーダー育成事業
財団法人山形県体育協会
事務局次長 藤 沢 進

ドイツが「スポーツの先進国」と言われるのは何故なのか。ドイツのスポーツクラブを訪問し、本場のクラブライフを体験することにより、その答えに近づくことはできるのだろうか。出発前に、本やインターネットで予備知識は詰め込んでみたものの、きっとそんな簡単なものではないのだろう。様々な期待と不安を抱えたまま、飛行機はフランクフルト空港に無事着陸した。

ニーダーザクセン州ヒルデスハイムにある、創設百五十年の歴史を誇るクラブを訪問した。ビッグクラブの会長自らが、快く気さくに講義をしてくれた。話のポイントは非常にシンプルである。ドイツのスポーツクラブ発展の要因を教えてください。まず、①国民の生活のサイクルについて。例えば「日曜日、祝日などは休息の日であり、精神の高揚の日として法律で保障される」とドイツ憲法に定められているなど。次に、②教育制度について。学校は基本的に半日制で学費は無料である。放課後の子どもたちの受け皿は、各地域のスポーツクラブの役割となっているなど。最後に、③行政(州や郡)とスポーツクラブのパートナーシップについて。

行政のスポーツ政策はとても明確であり、法律や条例を定め、地域やスポーツクラブとしっかり連携しているなど。以上、大変貴重なお話を簡単にまとめってしまったが、字数制限のため…。

日本の国としてのスポーツに対する考え方や、日々の現状をドイツと比較してみると、全てにおいて違いがあることは言うまでもない。百五十年を超えるドイツスポーツクラブの偉大なる歴史や文化、また、国としてのスポーツに対する確立された考え方や取り組みが、きっと「スポーツ先進国ドイツ」を築き上げたのだろう。



クラブ 通信

マイマイスポーツクラブ

クラブマネジャー
高橋 由和

私たちのクラブがある川西町は、置賜盆地のほぼ中央にある人口約一七、〇〇〇人の稲作を中心とした農業の町です。一面に広がる緑の水田は「米どころ川西」の象徴ともいえます。その川西町の最も東に位置する吉島地区に私たちのクラブがあります。人口約二、九〇〇人、世帯数が七五二戸の町を代表する農業主体の地域です。私たちのクラブは、吉島地区の全世帯で構成する(特)きらりよしじまネットワーク(以下「きらり」という。)の地域づくりのツールとして事業化されたクラブです。地域住民の交流の場、健康づくりや介護予防を目的に、二〇〇四年六月に設立されました。クラブハウスは「きらり」が管理する地区交流センターの中にあり、小学校と中学校の体育館、武道場、グラウンドを主な拠点としています。現在会員数は約一五〇名で町外からの会員も二〇名程います。マイマイでは、地域の高齢者の介護予防事業「シルバー健康レクリエーション大会」の企画・運営や学校のクラブ活動の支援、地域の青少年の体験塾「わんぱくキッズスクール」の企画運営など、地域づくりに貢献しています。



競技団体 ニュース

協会あげての強化策について

山形県体操協会
会長 岩田 邦弘

本協会は昭和二十二年九月に設立され、初代会長に大築亨氏が就任され現在に至っている。当初は六地区に地区協会を置いてのスタートだった。その後に、高体連・中体連・ジュニア等も加盟団体となり四つの技術委員会を主体とした事業を展開するようになった。平成四年本県開催の「べにばな国体」以来ビック大会を開催しなかったが、昨年(平成二十二年)全日本社会人新体操選手権大会を山形市総合スポーツセンターで開催した。今年は全日本社会人新体操選手権大会を、酒田市国体記念体育館で開催することになりました。この大会が成功できるよう各関係者が一丸となり取り組みますので、より一層のご指導ご協力をお願いします。さて、本協会の強化面をみると新体操女子のめざましい進歩はあるが他種別の低迷が気になります。また、東北六県の体操界を見ると宮城・青森・岩手は順調な伸びをしているが、山形県の低迷が目立っている。これを食い止めるには強化策しかありません。本年は、当協会の重点目標とします。本協会の課題はいくつかある。第一に財源の確保。第二は強化策の方法。第三は事務局体制の再構築等である。これらは四技術委員会や常任理事会に図りながら、当協会総会の決議を得て実行に移していく。本年は、協会あげて強化をはかり、数年後は結果を出したいと思う。



チーム紹介

私達のインディアカチーム

大蔵すまんすまん倶楽部

代表 齊藤 進

私達の倶楽部は、平成二年に村のインディアカ大会に参加することがきっかけになり、仲間を集めて作ったチームです。当時、村では軽スポーツの普及に取り組んでおり、大会では数多くの参加者があり大変賑やかに開かれておりました。また、平成四年に開催された「べにばな国体」のデモ競技にも大蔵村の代表として出場しました。

チームのメンバーは現在八名ですが、特に女子はお母さん達で構成されており、県内外で大変活躍しております。昨年行われた東北・北海道インディアカ大会において壮年女子の部で見事優勝し、今年六月に行われる全日本インディアカトーナメント大会に出場することになり、現在練習に励んでおります。

また、昨年十月には全国スポーツ・レクリエーション祭富山大会に参加しまして、全国のインディアカ愛好者と交流することができ、また成績も全国九位になることができました。

インディアカは、いつでも、どこでも、だれでもできるレクリエーションスポーツとして普及してきておりましたが、近年各大会に参加しますと、競技性も強くなってきたり、かなりハードな部分がありますが、またそこが楽しいところでもあります。



公認スポーツ指導者ノート

興味を引き出し育てる

バレーボール指導員

白幡 春喜



バレーボールの経験者であったことや地域周りの勧めもあり、小学生の指導をはじめた。先輩指導者、親の会皆さんからのアドバイスを受けながらの活動を重ねるうちに、指導者として本格的に勉強する必要性を感じ公認スポーツ指導員資格を取得しました。

指導する鳥海ミニバレーボールスポーツ少年団は、毎年団員数の確保が難しくぎりの人数で活動する為、参加人数、学年に合わせ練習方法に工夫が必要で、練習メニューは試行錯誤しています。

実際、言葉での動きの指導、思いの伝達、コミュニケーション等、内容的にも課題が多く指導に限界を感じていました。

認定指導員研修等、講話を聞き、「心・技・体」の指導、なにより結果より経過を観る指導の目、誉めることの大切さを学び、勝負に感情を出し一喜一憂していたことを思い反省しました。

今は入団した子供が日々上達する事が嬉しく、また、練習に休まず来る姿に関心し、なんとか活躍出来るよう自分も上手に指導したいと思っています。

指導員として、まだまだ学ぶことも多く未熟ではありますが、楽しさや努力、頑張る大切さ、バレーボールの魅力を伝え、普及指導に努めたい。



市町村体育協会だより

スポーツタウン天童

天童市体育協会

会長 結城 武則

本協会は、昭和三十二年に創設以来、五十三年を迎えることになりました。

昭和三十八年には県内のトップを飾るスポーツ少年団を結成し、翌年の東京オリンピックの聖火リレー、そして、平成四年の第四十七回国民体育大会「べにばな国体」と第二十八回全国身体障害者スポーツ大会「輝きのべにばな大会」等の大きなイベント毎に、市民一人ひとりがそれぞれの分野において協力と参加する機会に恵まれたことは、この上もない自信と感動を育むことができました。

このことは、天童市体育協会の発展に大きな礎となり、今日の天童における体育界の基礎を築くことができました。

近年は、市民によるスポーツ振興も一段と進み、特に競技力の向上ではジュニア層の活躍が際立ってきており、二十一世紀のスポーツを担う若人として大いに期待をしているところであります。

天童市体育協会は、「市民一人一スポーツ」の実現と、天童市を本拠地とする、サッカーJリーグのモンテディオ山形、プロ野球二軍の東北楽天ゴールデンイーグルス、バレーボールV・プレミアリーグのパイオニアレッドウィングス等の試合を観戦できる恵まれた環境を活かした「スポーツタウン天童」の構築に寄与すべく今後とも精進してまいります。



J1モンテディオ山形 更なる飛躍を！

サッカーのモンテディオ山形が2年連続でJ1の残留を決めた。J1初年度を上回る勝ち点と順位で、さらに成長した姿で「J1定着」へと前進した。浦和やガンバ大阪などの強豪チームを粘り強い山形らしい戦いで撃破し、確かな成長ぶりを見せてくれた。

天皇杯全日本選手権ではチーム史上初の4強入りは惜しくも逃したが、11年ぶりとなるベスト8進出を果たした。難敵川崎をPK戦まで持ち込み競り勝った激闘ぶりは輝かしい記憶になっている。

また、昨年に続き反則ポイントの少ないチームに贈られる「フェアプレー賞」を2年連続で獲得し、マナーの遵守やフェアプレー精神を重視してきたクラブの姿勢が評価された。

2011年はさらに上位を目指して活躍するモンテディオ山形に期待したい。



©SPORTS YAMAGATA21

山形銀行「ライヤーズ」3冠

昨年に引き続き大活躍の山銀ライヤーズ。今季は、全日本実業団競技大会・全日本社会人選手権・全日本実業団選手権の主要大会において、優勝を勝ち取り3冠を獲得した。国体では惜しくも3位の結果で4冠には届かなかったが、3年連続の3冠達成は讃辞すべき快挙である。



全日本実業団選手権

さらに、全日本総合選手権では、日本最高峰Wリーグの日立ハイテクに競り勝ち、チーム史上初のベスト8入りを果たした。

大会での活躍の他にも、県内各地でクリニックを開催し、多くの小・中学生たちにバスケットボール競技の楽しさを伝えながら、地域での普及活動や競技力向上に貢献している。

来年度も「ライヤーズ」の活躍から目を離せない。



全日本総合選手権（日立ハイテク戦）

東京圏東部でアパートを借りる際は当社へどうぞ！

東京駅から40分、総武線東船橋駅前 (有) 東船橋不動産
千葉県船橋市・創業32年

TEL 047-424-7200 <http://www.chintai-center.co.jp> 水・木曜定休

大江町出身
鈴木 隆

対象となる事故 団体活動中の事故／往復中の事故

保険期間 平成23年4月1日午前0時より平成24年3月31日午後12時まで(申込受付は平成23年3月から)

加入区分・掛金・補償金額 (団体活動を行う5名以上の方々で、加入区分をそれぞれお選び頂いてご加入ください。)



加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (一人あたり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (等級)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子ども (中学生以下 (特別支援学校 高等部の 生徒を含む。))	スポーツ・文化・ボランティア・ 地域活動	A1	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など)
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段：団体活動中及びその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,150円	2,100万円 熱中症及び感染症・ウィルス性食中毒の場合、保険金額はA1区分と同様	3,150万円	5,000円	2,000円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億500万円 ただし、身体賠償は 1人 1億500万円	葬祭費用 180万円
				100万円	150万円	1,000円	500円	身体・財物賠償 合算 1事故 500万円	対象と なりません
大人 (高校生以上 65歳以上の 方も加入 できます。)	文化・ボランティア・地域活動 団体員の送迎、応援、準備、片付け	A2	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など)
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導	C	1,600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	葬祭費用 180万円
	子どものスポーツ活動の指導 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない方はA2区分	AC	1,100円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円	身体・財物賠償 合算 1事故 500万円	対象と なりません
65歳以上	スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない方はA2区分	B	800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円	身体・財物賠償 合算 1事故 500万円	突然死 (急性心不全 脳内出血など)
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	9,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円	身体・財物賠償 合算 1事故 500万円	葬祭費用 180万円

※同一団体で1人以上加入できません。中途退団する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。

※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。Web スポーツ安全協会 検索

スポーツ安全保険

傷害保険 賠償責任保険 突然死葬祭費用保険

5+ 5名以上の団体でご加入ください

山形県スポーツ安全協会 山形県支部
(山形県体育協会内)

〒990-2412 山形市松山2丁目11番30号
TEL 023-642-8321
受付時間 午前9時～午後5時(土、日、祝日を除く)